



フォームデザインに含めるフラグメントの 作成方法と使用方法

2009年11月

Adobe® LiveCycle™ Designer ES2

バージョン9

© 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle™ Designer ES2 (9.0) フォームデザインに含めるフラグメントの作成方法と使用方法 (Microsoft® Windows® 版)
2009年11月

This tutorial is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the tutorial for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the tutorial; and (2) any reuse or distribution of the tutorial contains a notice that use of the tutorial is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>.

Adobe, Adobe logo, Adobe Reader, Acrobat, and LiveCycle are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Microsoft and Windows are either trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

このチュートリアルについて

このチュートリアルでは、フラグメントを作成して使用することにより、多数のフォームをより簡単に作成できるようにするプロセスを紹介します。

始める前に、フォームフラグメントの使用手順を説明したビデオチュートリアルを見ることができます。『[Form Fragments Video Tutorial](#)』を参照してください。

追加情報

内容	参照先
フラグメント	LiveCycle Designer ES2 ヘルプの「フラグメントの使用」
他の LiveCycle Designer ES2 のチュートリアル	発注書フォームの作成 フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成

フォームデザインに含めるフラグメントの作成方法と使用方法

フラグメントを使用して多数のフォームをより簡単に作成できるようにする手順は、以下のとおりです。

[フォームデザインに含めるフラグメントの作成と使用について](#)

[フラグメントライブラリパレットのサンプルフラグメントを開く](#)

[フラグメントの作成](#)

[フラグメントの編集](#)

[スクリプトを含むフラグメントの使用](#)

[サブフォームの表示を制御するときのフラグメントの使用](#)

フォームデザインに含めるフラグメントの作成と使用について

一連のフォームを作成する仕事を引き受けたとします。経験上、最初に作成するフォームは、完成までにある程度の試行錯誤を伴うことがわかっています。しかし最初のフォームが完成した後は、ショートカットを作成して作業プロセスを合理化することにより、はるかに短時間で残りのフォームを仕上げられるようになります。

例えば、作成するフォームの大半に配送先を入力する部分があるとします。この場合、新規フォームごとに配送先サブフォームを作成する代わりに、最初に作成した配送先サブフォームをコピーし、独立した XDP ファイルにペーストすることができます。これにより、簡単に配送先サブフォームをコピーし、残りのフォームにペーストできるようになります。配送先の部分を変更する必要があるときは、すべてのフォームで変更するか、または独立した XDP ファイルで変更してからすべてのフォームで配送先の部分を置き換えます。

LiveCycle Designer ES2 では、このような再利用可能な部分をフラグメントと呼びます。フラグメントは、使用するたびに独立したファイルからコピーする必要はありません。必要なフラグメントへの参照を挿入すれば、フォームにそのフラグメントが表示されます。フラグメントを更新すると、そのフラグメントを参照するすべてのフォームに変更が反映されます。

フォームを PDF ファイルとして保存するときには、すべてのフラグメントがそのフォームに含められます。

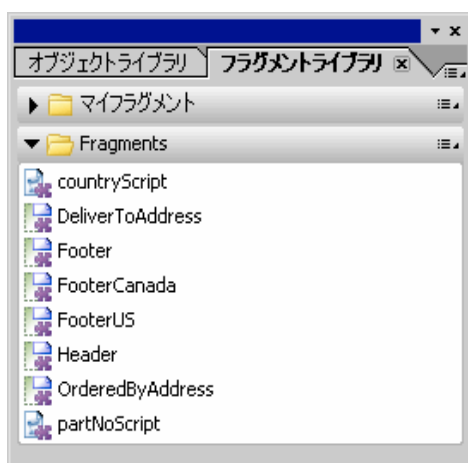
フラグメントライブラリパレットのサンプルフラグメントを開く

フラグメントライブラリパレットにはフラグメントライブラリが含まれています。フラグメントライブラリは、フラグメントのソース XDP ファイルを格納する、ファイルシステム内のフォルダーに対応します。

マイフラグメントライブラリには、フォームデザインに挿入したり、新しいフラグメントの作成に使用したりできるサンプルフラグメントが含まれています。

次に、フラグメントに簡単にアクセスするための、サンプルフォーム用のフラグメントライブラリを開きます。

- 1 ウィンドウ/フラグメントライブラリを選択し、フラグメントライブラリパレットを表示します。
- 2 フラグメントライブラリパレットメニューで「フラグメントライブラリを開く」を選択します。
- 3 JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Form Fragments¥Fragments のフラグメントを選択します。
- 4 「OK」をクリックします。



フラグメントの作成

この節では、フラグメントの作成方法を学びます。

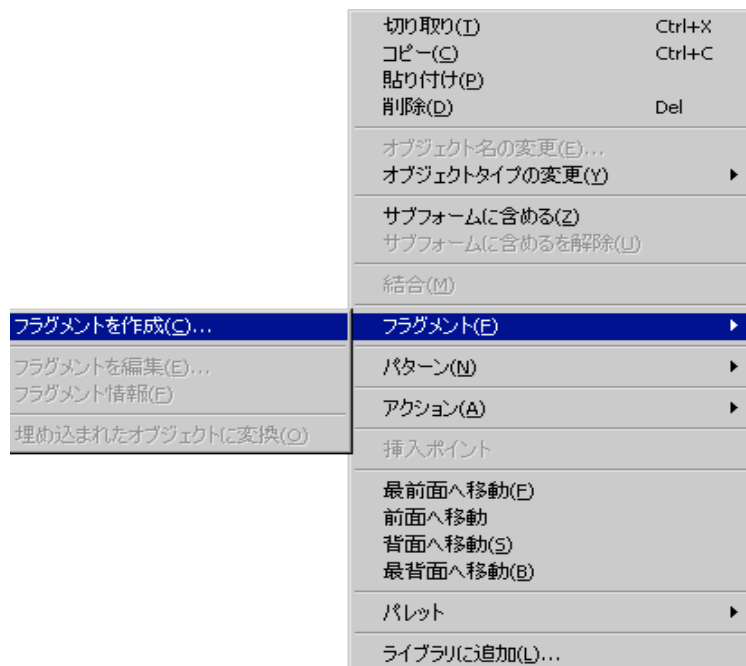
フラグメントは、独立したファイルに作成することも、現在のフォームデザイン内に作成することもできます。

- 1 ¥JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Form Fragments¥Forms の Purchase Order Interactive.pdf サンプルフォームを開きます。
- 2 フォームの上部で、発注番号および発注日付テキストフィールドオブジェクトを選択します。



フラグメントの作成

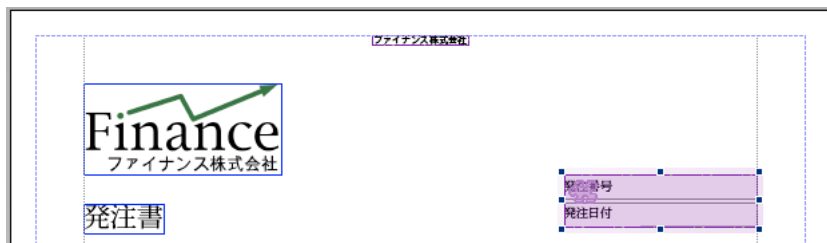
- 3 編集/フラグメント/フラグメントを作成を選択します。



- 「名前」ボックスにフラグメント名として「PO Info」を入力します。
- フラグメントの説明として「発注番号と日付」と入力します。
- フラグメントライブラリに保存する独立した XDP ファイルにフラグメントを定義する場合は、「フラグメントライブラリに新しいフラグメントを作成」を選択します。
- 現在のドキュメントにフラグメントを定義する場合は、「現在のドキュメントに新しいフラグメントを作成」を選択します。
- フラグメントリストで「フラグメントライブラリを開く」を選択し、JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Form Fragments¥Fragments の Fragments フォルダーを選択します。
- フォームデザインの発注番号および発注日付フィールドオブジェクトが新しいフォームフラグメントに置き換えられるように、「選択内容を新しいフォームフラグメントへの参照と置き換える」オプションは選択されたままにします。
- 「OK」をクリックします。
- フォームデザインを「My PO Interactive.PDF」として保存します。

発注番号および発注日付オブジェクトの外観が変更されています。これは、新しく作成された PO Info フラグメントへの参照によって、これらのオブジェクトが置き換えられたためです。

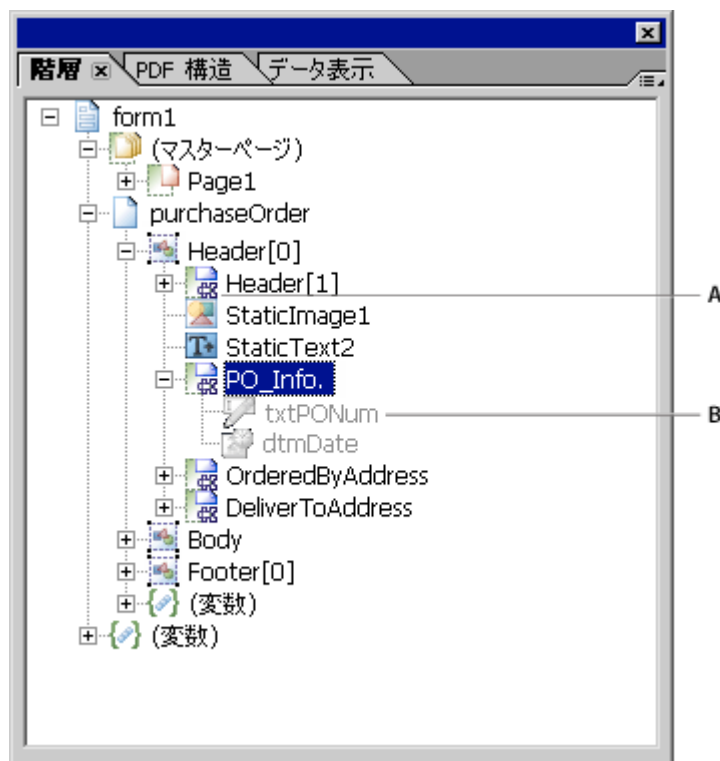
フラグメント参照の左上隅にフラグメントアイコンが表示されます。フラグメントアイコンには、オブジェクトの境界線の色が使用されます。フラグメント参照内のオブジェクトには、灰色の境界線が使用されます。灰色の境界線は、フラグメント参照からは編集できないことを示します。



フラグメントの編集

フラグメント参照内の任意の場所をクリックすると、そのフラグメント参照が選択されます。フラグメント参照上の任意の場所をドラッグすると、そのフラグメント参照が移動します。フラグメント参照内のオブジェクトは選択できません。

同様に、フラグメント参照内のオブジェクトは階層パレットでは利用できません。これは、フラグメント参照内のオブジェクトは選択も編集もできないためです。



A. サブフォーム上のフラグメント参照アイコン B. フラグメント内のオブジェクトは利用できません

階層パレット内にあるフラグメント参照とそのコンテンツは、他のフォームオブジェクトと同じように移動できます。ただし、オブジェクトをフラグメント参照内にドラッグすることはできません。

フラグメントの編集

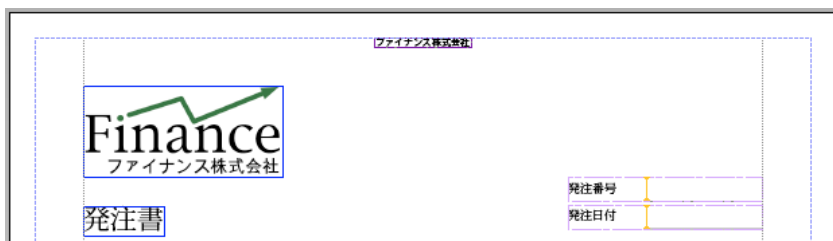
フラグメントの主な利点の 1 つは、多数のフォームに追加でき、変更が必要なときには 1 か所の変更で済むことです。この節では、PO Info フラグメントを編集します。

最初に、PO Info フラグメントを編集したときに複数のフォームデザインに効果が現れることを確認するため、このフラグメントを Purchase Order Dynamic Interactive.pdf フォームに追加します。

- 1 Purchase Order Dynamic Interactive.pdf を開きます。
- 2 発注番号および発注日付オブジェクトを選択して削除します。
- 3 フラグメントライブラリパレットで、PO Info フラグメントをフォームデザインにドラッグします。
- 4 フォームデザインを「My PO Dynamic Interactive.PDF」として保存します。

スクリプトを含むフラグメントの使用

- 5 PO Info フラグメント参照を右クリックし、フラグメント/フラグメントを編集を選択します。Workbench ES2 で PO Info フラグメントのソースファイルが開き、フラグメントを編集できるようになります。
- 6 「発注番号」を「発注 No.」に置き換えます。
- 7 My PO Interactive.pdf および My PO Dynamic Interactive.PDF サンプルフォームを開きます。どちらのフォームのフラグメント参照も更新されています。



ここまでで、フラグメントの作成方法と変更方法を学びました。さらに、フラグメント参照を、埋め込まれたオブジェクトに変換することもできます。また、現在のフォームのフラグメント参照のみに影響する上書きを作成することもできます。

次に、フラグメントを使ってできる興味深い機能をいくつか紹介します。

スクリプトを含むフラグメントの使用

フラグメントには、どの特定のスクリプトオブジェクトからも独立して保存される、再利用可能な JavaScript 関数または値を含めることができます。これらのフラグメントは、あるフォームの多くの箇所で使用したり多くのフォームで使用したりする、カスタム関数やプロパティの作成に使用します。

例えば、countryScript サンプルフラグメントは、サンプルフォーム内の国コンボボックスと都道府県コンボボックスの相互作用を制御します。都道府県コンボボックスに表示されるオプションは、国コンボボックスで選択した国によって異なります。

サンプルスクリプトフラグメントをテストするには

- 1 My PO Interactive.pdf サンプルフォームを開き、レイアウトエディターで「PDF プレビュー」タブをクリックします。
- 2 フォームの「発注文」セクションで、国コンボボックスから「Canada」を選択し、都道府県コンボボックスをクリックします。選択肢になる州がリストに表示されます。



スクリプトを含むフラグメントの使用

- 3 次に、国コンボボックスから「United States」を選択し、都道府県コンボボックスをクリックします。選択肢になる州がリストに表示されます。

次に、サンプルフォームの countryScript フラグメントをさらに詳しく見ていきましょう。

countryScript フラグメント内のスクリプトを表示するには

- 1 フラグメントライブラリパレットで、countryScript を右クリックして「フラグメントを編集」を選択します。

階層パレットを見ると、このフラグメントが Variables の子になっています。フラグメントには、検証、計算、初期化のようなイベントスクリプトなどの、他のフォームオブジェクトに関連付けられたスクリプトを含めることはできません。

- 2 階層パレットで countryScript スクリプトオブジェクトを選択します。
3 スクリプトエディターを展開し、スクリプトを表示します。

```
#subform[0].#subform[1].#variables[0].countryScript - (JavaScript, client)
// This script object controls the interaction between the country and state/province Drop-down lists.

// The array contains the country and the corresponding states/provinces.

var myCountries = new Array(new Array(2), new Array(14), new Array(52)); // Create a two-dimensional array.
// For each country, add a 'new Array()'

// Define the country and the corresponding states/provinces.
// The array syntax is arrayName[index][index].
// The first index number represents the country,
// the second index number is the actual data value.

myCountries[0][0] = ""; // The first items in the Drop-down Lists should be blank.
myCountries[0][1] = "";
myCountries[1][0] = "Canada"; // The first data value is the country name,
myCountries[1][1] = "Alberta"; // the rest are states/provinces.
```

countryScript フラグメントは、サンプルフォーム内の OrderedByAddress および DeliverToAddress フラグメントで、drpDeliverToCountry および drpDeliverToStatePrv コンボボックスオブジェクトによって参照されています。

- 4 フラグメントライブラリパレットで、DeliverToAddress を右クリックして「フラグメントを編集」を選択します。

- 5 階層パレットで drpDeliverToCountry コンボボックスオブジェクトを選択し、スクリプトエディターでスクリプトを表示します。countryScript フラグメントがどのように参照されているかがわかります。



サブフォームの表示を制御するときのフラグメントの使用

Purchase Order Dynamic.xdp サンプルフォームでは、フォームにマージされるデータに応じてフッターに適切な所在地が表示されるように、フラグメントを使用しています。このサンプルフォームが Purchase Order Canada.xml ファイルとマージされるときは、FooterCanada フラグメントがインスタンス化されますが、このフォームが Purchase Order US.xml ファイルとマージされるときは、FooterUS がインスタンス化されます。

- 1 Purchase Order Dynamic.xdp を開き、ファイル/フォームのプロパティ/プレビューをクリックします。
- 2 「データファイル」フィールドで参照ボタンをクリックし、JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Form Fragments¥Data の Purchase Order US.xml データファイルを選択します。
- 3 「開く」をクリックし、「OK」をクリックします。
- 4 レイアウトエディターの「PDF プレビュー」タブをクリックします。フッターの会社所在地にアメリカの所在地が表示されています。

ファイナンス株式会社 * 123, 〇〇Ave * 〇〇Town * USA * Phone: 555.666.7777 Fax: 555.666.8888 * www.financeCorporation.com

本ソフトウェアに付属するサンプルフォーム内の会社名および会社ロゴは、デモ目的にのみ使用され、実存する団体を言及するものではありません。

ページ 1 / 1

- 5 ファイル/フォームのプロパティ/プレビューを選択します。
- 6 「データファイル」フィールドで参照ボタンをクリックし、JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Form Fragments¥Data の Purchase Order Canada.xml データファイルを選択します。
- 7 「開く」をクリックし、「OK」をクリックします。
- 8 レイアウトエディターの「PDF プレビュー」タブをクリックします。今度は、フッターの会社所在地にカナダの所在地が表示されています。

ファイナンス株式会社 * 123, 〇〇Ave * 〇〇Town * Canada * Phone: 111.222.3333 Fax: 111.222.4444 * www.financeCorporation.com

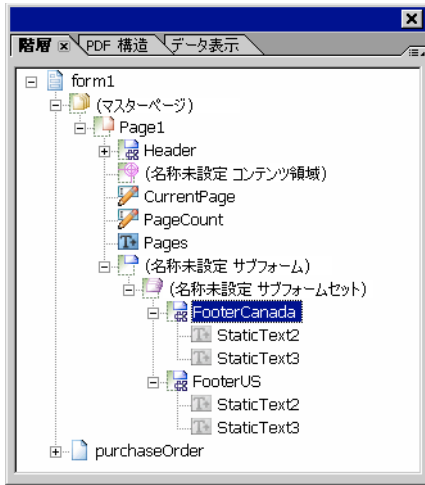
本ソフトウェアに付属するサンプルフォーム内の会社名および会社ロゴは、デモ目的にのみ使用され、実存する団体を言及するものではありません。

ページ 1 / 1

次に、この選択がどのように行われたかを見てみましょう。


FooterCanada および FooterUS フラグメントを表示するには

- 1 階層パレットで FooterCanada フラグメントを右クリックします。

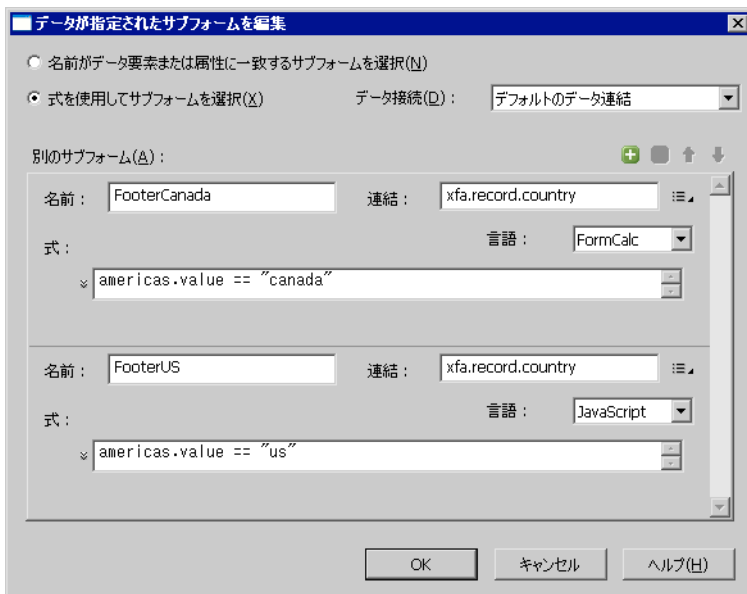


- 2 フラグメント/フラグメントを編集オプションを選択します。このフラグメントが2つのスタティックテキストオブジェクトで構成され、その内の1つによってカナダの所在地が表示されることがわかります。
- 3 同じ手順で FooterUS フラグメントも表示します。

発注書フッターの選択セクションを表示するには

- 1 Purchase Order Dynamic.xdp サンプルフォームを開き、レイアウトエディターで「マスターページ」タブをクリックします。
- 2 ページの最下部までスクロールし、フッターを表示します。FooterCanada フラグメント参照と FooterUS フラグメント参照のどちらも、サブフォームセット内でもう一方の上に配置されていることがわかります。ただしデータによっては、フォームがレンダリングされるときに一方のフッターのみが表示されます。また、ページの下部に合うようにサイズが調整されたため、小さいアイコン  が表示されます。このアイコンは、フラグメント参照の上にプロパティの上書きがあることを示します。
- 3 階層パレットでサブフォームセットを選択し、オブジェクトパレットの「サブフォームセット」タブで「代替オブジェクトの編集」をクリックします。データが指定されたサブフォームを編集ダイアログボックスに、代替フッターフラグメントの連結、言語および式が表示されます。

次のステップ



- 4 テキストエディターで Purchase Order US.xml および Purchase Order Canada.xml ファイルを開きます。<americas> </americas> の値が Purchase Order US.xml では us、Purchase Order Canada.xml では Canada になっています。データがフォームにマージされる時にどちらのフラグメントがインストールされるかは、この値によって決まります。

次のステップ

ここまで、多数のフォームを作成し管理するときにフラグメントがどのように役立つかを見てきました。フラグメントについて詳しくは、[LiveCycle Designer ES2 ヘルプ](#)の「フラグメントの使用」を参照してください。